

「超小型ギガビットスイッチング HUB」、小型 SAR 衛星「イザナミ」に搭載 衛星軌道上での IP ネットワーク通信に成功

～QPS 研究所様の小型高精細 SAR 衛星 2 号機「イザナミ」の通信ユニットに採用～

株式会社 OA 研究所(本社:神奈川県鎌倉市/代表取締役社長:松崎 希誉文)は、2021 年 1 月 25 日に打ち上げが成功した、株式会社 QPS 研究所様の小型高精細 SAR 衛星 2 号機「イザナミ」に、衛星内部の通信ユニットとして当社の「超小型ギガビットスイッチング HUB」が採用されたことをお知らせします。当社の超小型スイッチング HUB は、衛星軌道上での「イザナミ」の IP ネットワーク通信に成功いたしました。

2017 年 10 月、当社は、あらゆる機器の小型化に伴う超小型 IoT 組込機器のニーズ拡大を視野に、「超小型ギガビットスイッチング HUB」を発売いたしました。同製品はこれまでに様々な分野でご活用いただき、お客様の課題解決、製品開発を支援しております。

2 年前に QPS 研究所様から届いた 1 通のメールが、当社の宇宙への取り組みの始まりでした。同社が開発中の次期小型衛星に、当社の超小型ギガビットスイッチング HUB を搭載できないだろうか、というお問い合わせでした。本製品は、名刺サイズ以下の「超小型化」、「超軽量化」を実現しています。通信機器としての機能や性能だけでなく、搭載機器のサイズ・重量が非常にシビアである衛星の打ち上げのコスト面において、優位性を評価いただきました。

当社製品は、工場などの温度や粉塵などが過酷な環境でも利用できる設計ですが、柔軟なカスタマイズも可能です。宇宙空間での使用にも対応するため、鉛コーティング実装(※特許出願中)、スイッチングデバイスの変更、基板単体で 5 年間分の「γ線照射試験」を実施し合格。正式に採用いただき、この度の衛星への搭載が実現しました。



【超小型ギガビットスイッチング HUB (鉛コーティング)】

【エンドースメントのご紹介】

株式会社 QPS 研究所 <https://i-qps.net/>

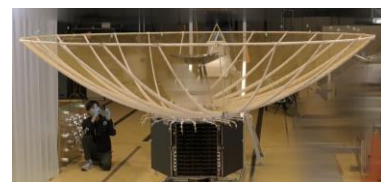
研究員 古賀 洋平 様

「OA 研究所様の超小型 HUB を搭載した弊社の衛星 2 号機「イザナミ」は、打ち上げ同日の 1 月 25 日に衛星軌道上で IP ネットワーク通信に無事に成功いたしました。宇宙での使用が可能かどうか確認するための放射線試験など、搭載するまでの多大なるご協力、誠にありがとうございました。今後は宇宙での長期運用試験を通じて、さらに耐久性などの性能を確認しつつ、3 号機以降に向けて開発を進めていきます。」

※2021 年 3 月に小型 SAR 衛星 2 号機「イザナミ」の最初の撮影画像(ファーストライト)取得の成功を発表
<https://i-qps.net/news/467>



【ファーストライト SAR 画像 : 福岡県福岡市】



※記載されている社名、製品名等は、一般に各社の商標または登録商標です。

※本ニュースリリースに掲載されている内容、お問い合わせ先、その他の情報は、発表時点の情報で、変更となる場合があります。

この件に関するお問い合わせ先

【株式会社 OA 研究所】

<http://www.oalab.co.jp/>

営業グループ

〒247-0061 神奈川県鎌倉市台 2-15-41

TEL: 0467-48-0251

FAX: 0467-48-0256

E-MAIL: eigyou@oalab.co.jp